

# 福島経済マンスリー

## 12月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

### 1. 平成27年12月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動や消費動向の一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では9ヵ月連続して前年比で増加した。一方、新車登録台数は、21ヵ月連続で前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数、請負金額、保証金額が2ヵ月ぶりでいずれも前年を下回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が2ヵ月連続で前年を下回ったものの、床面積と工事費予定額が2ヵ月ぶりでいずれも前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は2ヵ月ぶりで前年を上回った。内訳をみると、持家が2ヵ月連続で前年を下回ったが、分譲が4ヵ月連続、貸家が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が2ヵ月連続で上昇したものの、前年比は変わらなかった。業種別の前月比をみると、7業種で上昇し、12業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を0.04ポイント上回ったが、原数値が前年を0.05ポイント下回った。一方、雇用保険受給者実人員は2ヵ月ぶりで前年を下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は11月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

## 2. 県内経済動向の概要

## (1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		27年7月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	2.5	2.6	2.6	4.1	1.9	2.2
	乗用車新車登録台数	△ 17.6	△ 4.3	△ 11.2	△ 6.2	△ 6.4	△ 14.3
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 44.7	△ 22.9	△ 34.5	△ 8.0	73.7	△ 42.6
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	0.6	24.6	21.2	△ 6.7	77.9	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 14.4	20.1	33.4	23.4	△ 8.3	3.5
生産活動	鉱工業生産指数（総合） <sup>注1</sup>	△ 2.2	△ 3.9	△ 8.3	△ 5.0	0.0	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） <sup>注1</sup>	0.05	0.04	0.02	△ 0.06	0.21	△ 0.05
	雇用保険受給者実人員	△ 4.2	0.1	△ 1.5	△ 1.4	3.5	△ 1.1

注1 原指数

## (2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		27年7月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	1.0	5.0	△ 10.5	5.9	△ 0.01	26.20
	乗用車新車登録台数	△ 11.2	△ 19.1	44.2	23.6	4.7	△ 13.0
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 44.2	△ 10.0	△ 14.7	18.5	△ 17.9	△ 20.8
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 51.6	△ 2.3	30.4	109.0	△ 38.7	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 15.0	△ 6.3	6.1	10.1	△ 15.3	21.7
生産活動	鉱工業生産指数（総合） <sup>注2</sup>	1.9	0.3	△ 4.1	3.0	0.3	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） <sup>注2</sup>	0.06	0.00	△ 0.02	△ 0.04	0.01	0.04
	雇用保険受給者実人員	0.3	△ 0.6	△ 2.6	△ 9.2	△ 5.7	△ 1.7

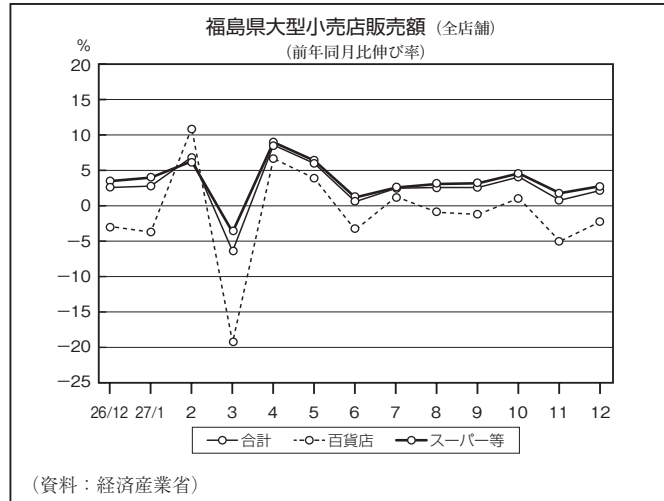
注2 季節調整値

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

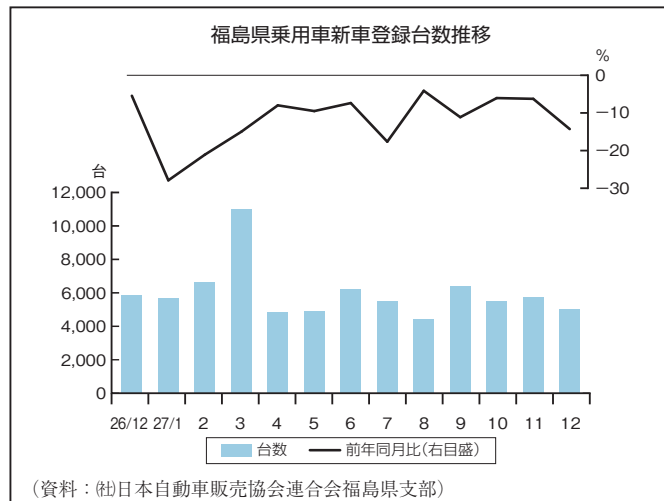
##### 大型小売店：9ヵ月連続で前年比増

12月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で259億62百万円（前年同月比+2.2%）と9ヵ月連続で前年を上回った。業態別でみると、百貨店は、衣料品が前年を下回ったことなどから、合計では同△2.2%となった。一方、スーパーは、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回ったことなどから、合計では同+2.8%となった。



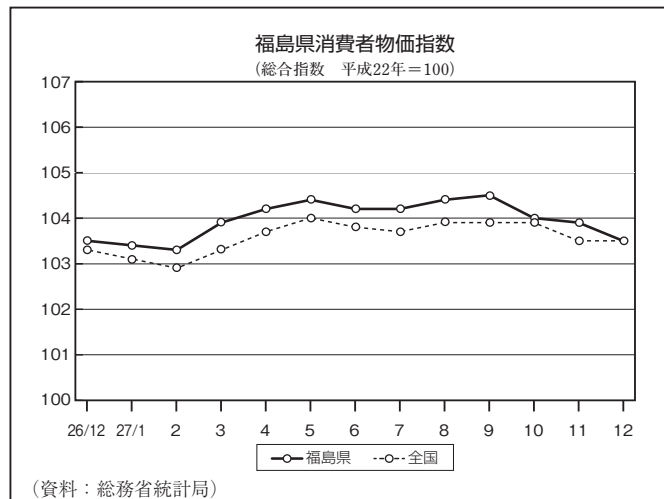
##### 乗用車販売：21ヵ月連続で前年比減

12月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で4,995台（前年同月比△14.3%）となり、21ヵ月連続で前年を下回った。車種別でみると、普通車が1,695台（同+16.5%）と6ヵ月ぶり、小型車が1,632台（同+1.1%）と4ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回ったものの、軽乗用車が1,668台（同△39.5%）と12ヵ月連続で前年を下回った。



##### 消費者物価指数：前月比は下降、前年比は不変

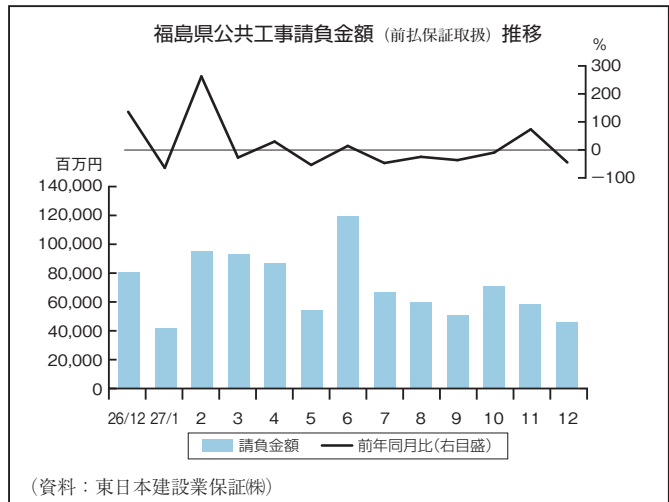
12月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）でみると、103.5と前月比△0.4%、前年同月比は変わらなかった。費目別に前月比でみると、「保健医療」が101.0（前月比+0.1%）など2費目で上昇したものの、「被服・履物」の106.6（同△1.5%）など5費目で下降した。



公共投資

公共工事：請負額は2ヵ月ぶりで前年比減

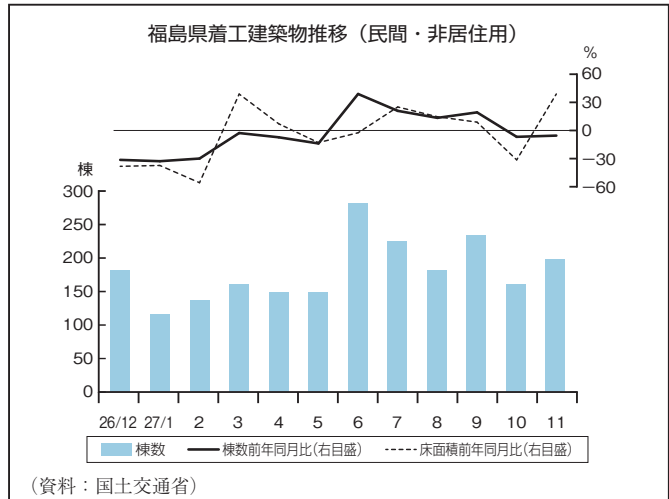
12月の公共工事前払保証取扱は、保証金額が254億80百万円（前年同月比△31.1%）、件数が575件（同△16.2%）、請負金額が465億22百万円（同△42.6%）と2ヵ月ぶりでいずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2ヵ月ぶりで前年比増

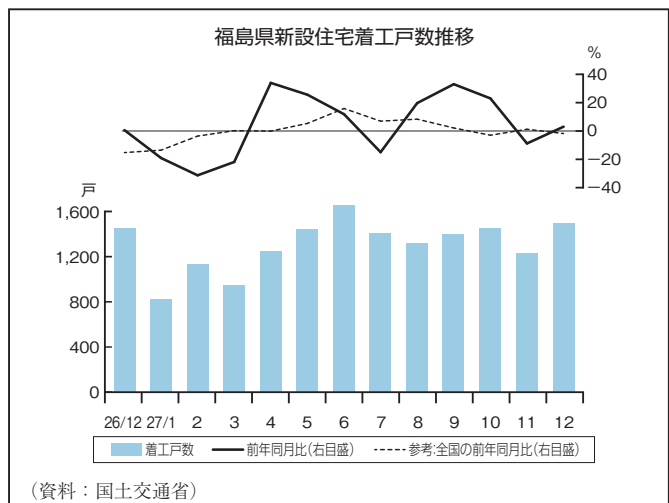
11月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が198棟（前年同月比△5.7%）と2ヵ月連続で前年を下回ったものの、床面積が92,929㎡（同+38.2%）、工事費予定額が214億12百万円（同+77.9%）と2ヵ月ぶりでいずれも前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：2ヵ月ぶりで前年比増

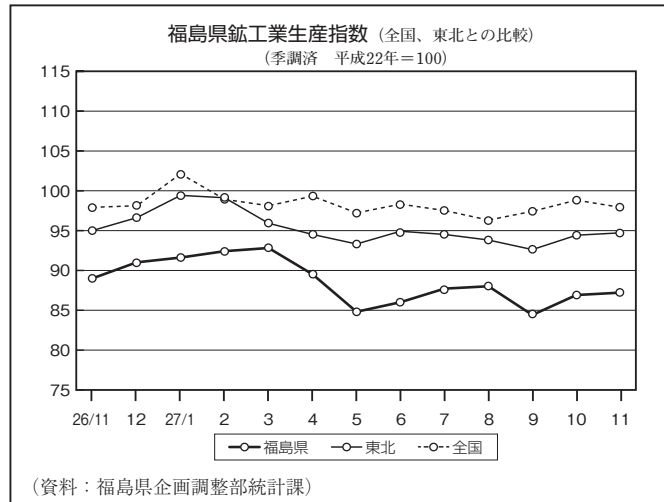
12月の県内新設住宅着工戸数は、1,498戸（前年同月比+3.5%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が620戸（同△8.8%）と2ヵ月連続で前年を下回ったものの、「分譲」が177戸（同+105.8%）と4ヵ月連続、「貸家」が699戸（同+4.3%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比は不変、前月比上昇

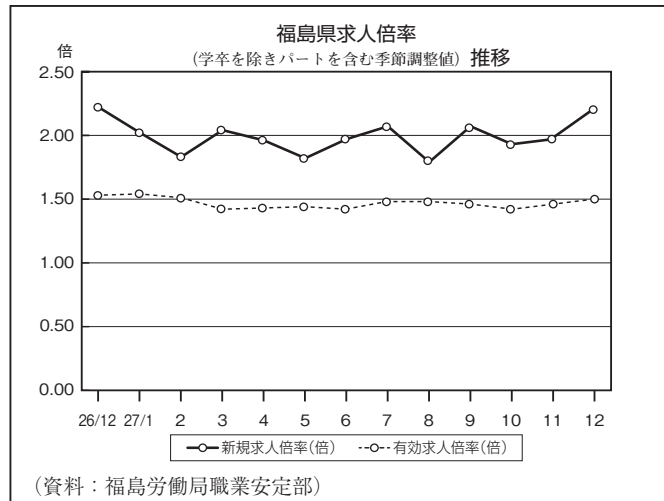
11月の鉱工業生産指数は、87.2（季節調整値）で前月比+0.3%と2ヵ月連続で前月を上回ったが、原指数が86.7で前年と変わらなかった。業種別の季節調整値をみると、「化学工業」（前月比+7.8%）など7業種で上昇したが、「非鉄金属工業」（同△10.5%）など12業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：雇用保険受給者は2ヵ月ぶり前年比減

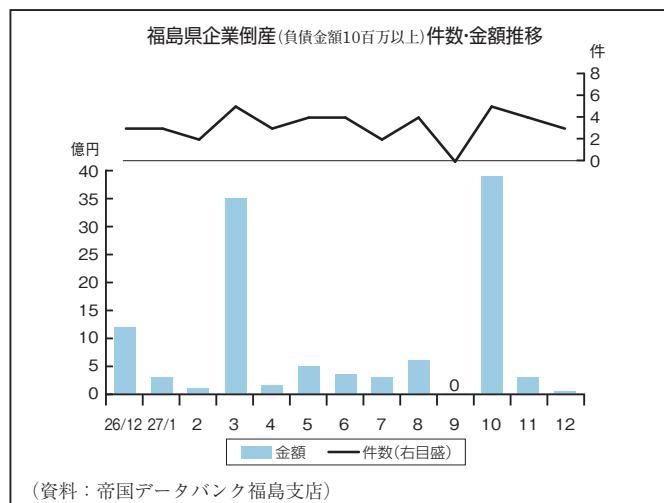
12月の新規求人倍率は、季節調整値が2.20倍（前月比+0.23ポイント）、原数値が2.27倍（前年同月比△0.07ポイント）となった。また、12月の有効求人倍率は、季節調整値が1.50倍（前月比+0.04ポイント）、原数値が1.58倍（前年同月比△0.05ポイント）となった。また、12月の雇用保険受給者実人員は5,853人（前年同月比△1.1%）と2ヵ月ぶり前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：金額は前年比で大きく減少

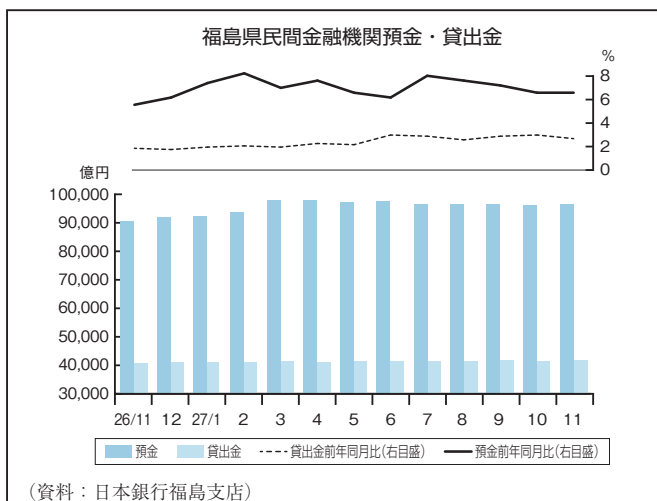
12月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件（前年同月比0.0%）、負債総額が30百万円（同△97.6%）となり、件数は前年と変わらなかったが、負債総額は前年を大きく下回った。業種別では、卸売業、小売業、サービス業が各1件となった。



金融動向

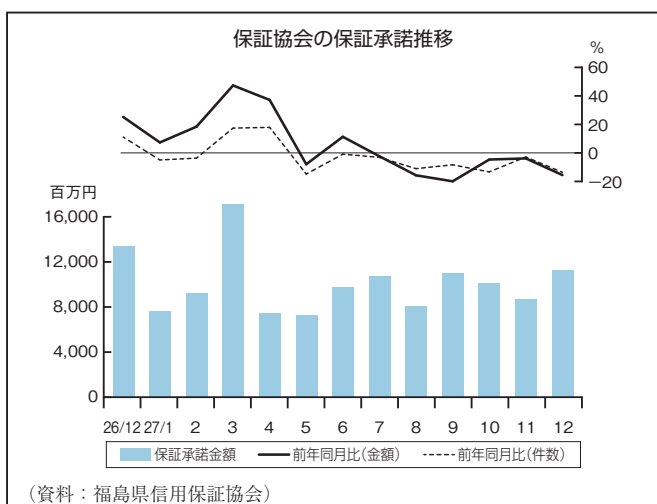
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の11月末の預金残高は、9兆6,681億円（前年同月比+6.4%）と8年9ヵ月連続、貸出金残高は、4兆1,648億円（同+2.6%）と30ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：代位弁済は件数が前年比増

12月の保証承諾は、件数が966件（前年同月比△13.7%）、保証金額が112億46百万円（同△15.7%）となった。また、12月末日現在の保証債務残高は、件数42,397件（同△7.7%）、金額3,704億28百万円（同△8.8%）となった。一方、12月中の代位弁済は、件数が35件（同+59.0%）、金額が3億77百万円（同△6.1%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

**家電量販店** 12月の家電量販店の売上高は、暖冬による影響もあり、エアコンなどが前年を下回ったものの、テレビや洗濯機などが前年を上回ったことから、合計ではほぼ前年並みとなった。

**ホームセンター** 12月のホームセンターの売上高は、作業用品や医薬品などが前年を下回ったことから、合計では前年を5%程度下回った。

**旅行** 11月の旅行取扱額は、国内、国外とも前年を下回ったことから、合計では前年を20%程度下回っ

た。

**高速道路** 12月の県内自動車道出入台数は、合計で5,268,791台（前年同月比+5.7%）と、13ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～山元IC）は1,753,700台（同+15.2%）と22ヵ月連続、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は550,762台（同+1.4%）、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は381,135台（同+0.9%）、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,583,194台（同+1.7%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。

**福島空港** 12月の福島空港国内定期路線の利用状況は、17,903人（前年同月比+0.9%）と前年を上回っ

た。路線別にみると、札幌便は4,603人（同△23.9%）、大阪便は13,300人（同+13.8%）となった。  
（国際定期路線は全便運休）

**生産活動**

**化学** 12月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国向けの供給過剰による影響から、価格が低下していることなどから、合計では前年をやや下回る生産水準となっている。

**鉄鋼・金属** 12月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が国内および米国などの国外からの受注が振るわず、前年を10%程度下回る生産水準となった。また、半導体向け電子材は、国内および中国など国外からの受注が減少していることから、前年を30%以上下回る生産となった。12月の建機用鋳造品は、中国からの受注減少が続いていることなどから、前年を50%程度下回る生産となった。陸船用バルブは、海外製品との競合などから、受注量が減少したことから、前年を10%ほど下回る生産となった。

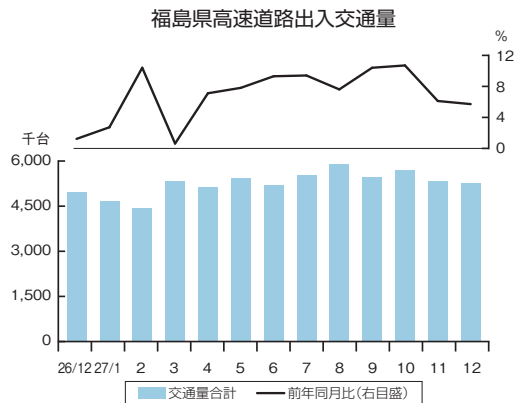
**輸送用機械** 12月の鋳造品は、トラック用では、国内受注が堅調なもの、タイヤインドネシアからの受注が減少しているため、合計では前年を10%程度下回る生産となった。一方、オイルシールは、アジア向けを中心に輸出が伸び悩んでいることなどから、合計では計画を5%程度下回る生産となった。

**電気機械** 12月の電気機械の生産は、誘導炉が前年を上回ったものの、変圧器やモーター、配電盤が減少したことから、合計では前年を10%程度下回った。

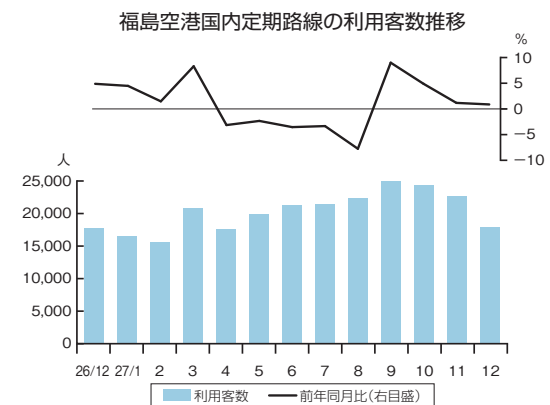
**情報通信機械** 12月の情報通信機械の生産は、国外向けマイクロ波通信装置（携帯電話の中継局）、国内向けモバイル基地局とも前年を下回ったことから、合計では前年を15%ほど下回る生産水準となった。

**電子部品・デバイス** 12月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前年を15%程度上回った。

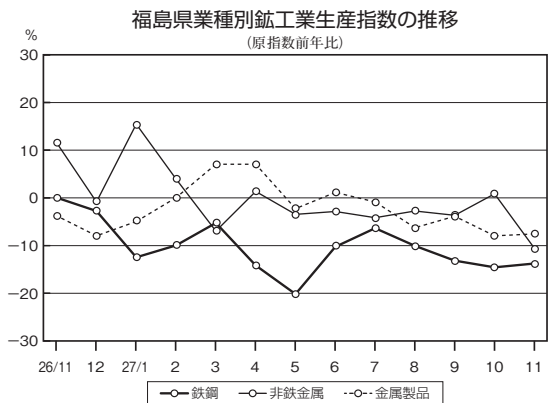
**精密機械** 12月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調に推移



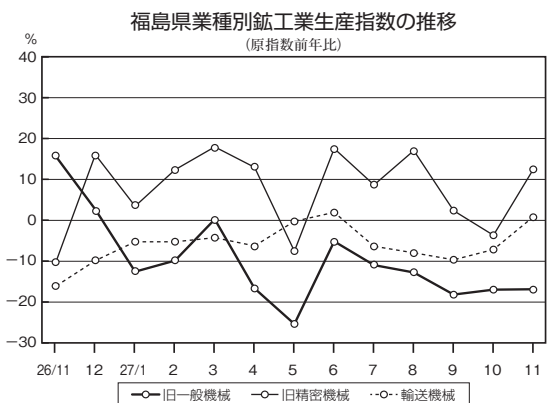
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)



(資料：福島県商工労働部空港交流課)



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県企画調整部統計課)



しており、合計では前年をわずかに上回る生産水準となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内、国外とも受注が増加したことから、全体では前年を10%ほど上回る生産となった。

**窯業・土石** 12月の生コンクリート出荷量は、全体で182,390m<sup>3</sup>（前年同月比+4.6%）と3ヵ月連続で前年を上回った。民需・官公需別にみると、官公需は県北、いわき、相双、会津の4地区が前年を上回り、合計で同+14.9%となった。一方、民需は県北と白河を除く4地区が前年を下回ったことから、合計で同△1.3%となった。

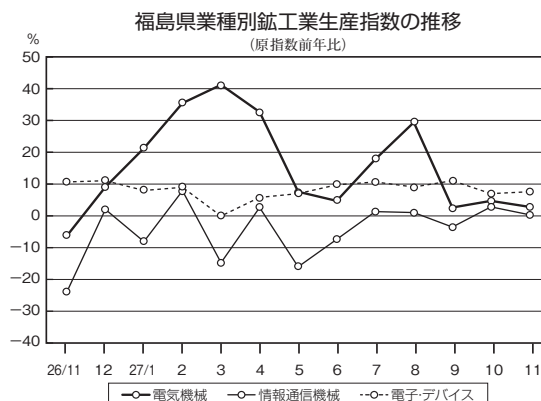
**紙・紙加工品** 12月の製紙は、感熱紙とノーカーボン紙を中心に輸出が伸びたことなどから、合計では前年を20%ほど上回る生産水準となった。

**清酒** 12月の清酒移出数量は、2,276kl（前年同月比△4.0%）と2ヵ月連続で前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が1,110kl（同△10.3%）と3ヵ月連続で前年を下回ったが、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）は1,167kl（同+2.8%）と9ヵ月連続で前年を上回った。

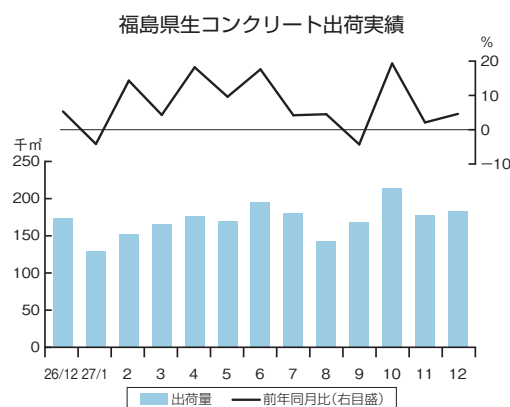
**化合繊維物** 12月の化合繊維物は、生産量が前年を10%以上上回ったものの、単価が低下したことから、生産額は前年を10%程度下回った。

**ニット** 12月のニットは、春夏物製品と秋冬物サンプルを中心に安定した受注量を確保しており、前年を20%ほど上回る生産水準となった。

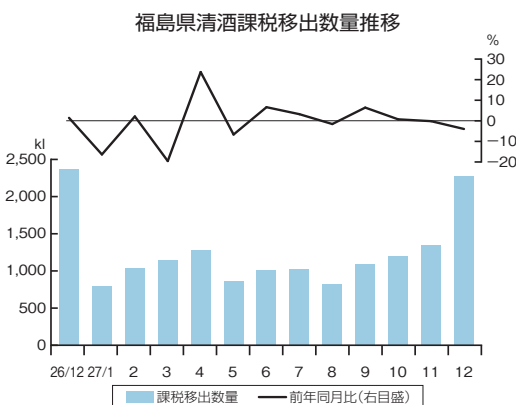
**大口電力** 12月の大口電力販売量は、468百万kwh（前年同月比△3.2%）と5ヵ月連続で前年を下回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で87百万kwh（前年同月比△18.2%）、「電気機械」で78百万kwh（同△1.0%）、「輸送用機械」で50百万kwh（同△7.8%）、「化学」で49百万kwh（同+13.3%）、「一般機械」で23百万kwh（同△6.6%）、「紙・パルプ」で27百万kwh（同+24.9%）となっている。



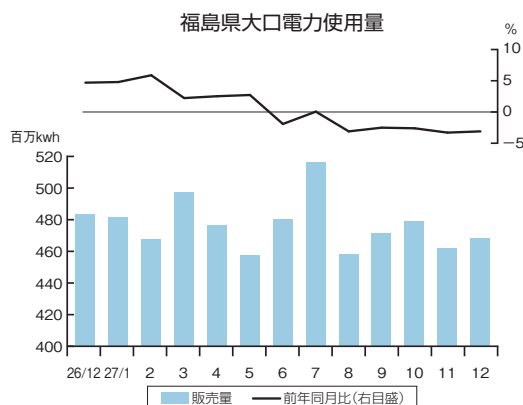
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)